

## 8-5-7 ICT普及専門委員会

### 1. 主な活動の記録

#### (1) 専門委員会の開催

開催回数：10回（4月～1月）

#### (2) 専門委員会の委員構成等

当専門委員会は、全国の協会加盟会社より21名（21社）が参画し、協会加盟会社のICT推進のため、各支部と連携し講習会の企画・開催を実施することを主な目的としている。

また、上記21名中の9名が各支部の情報・ICT関連委員会に参画しており、本部の情報部会やICT委員会等で収集した情報を各支部へ提供するとともに、各支部で得られた情報を集約し本部組織へフィードバックすることで、本部と支部の情報連携にも寄与している。

#### (3) 主な活動内容等

##### a) 今年度の活動内容

当専門委員会では、例年、「GIS講習会（ハンズオン形式）」と「ICTセミナー（座学形式）」を企画・開催しているが、今年度もコロナ禍が収束の兆しを見せていなかったこともあり、集合形式での実施が前提である「GIS講習会」の開催を見送り、Webで実施可能な「ICTセミナー」での普及活動に注力した。

##### b) ICTセミナーの開催

「ICTセミナー2021 - BIM/CIMの動向と関連情報講習会」の標題の下、ウェビナー形式で講習会を開催した。

Webによるリアルタイム配信でセミナーを開催するのは、今回が初挑戦であったが、受講者アンケートでは「役に立つ」という回答が95%を超え、今後も定期開催を要望する声が多数であった。

なお、セミナーの主な内容は、以下のとおりである。

- ① BIM/CIM 令和5年度の原則適用に向けた進め方、検討項目、検討概要などの説明
- ② 更新部分を中心としたBIM/CIM関連基準・要領等に関する解説

##### ③ ICT関連技術の紹介

##### ④ 電子納品要領・基準の改定概要の説明

##### ⑤ 成果品に用いる電子地図等の著作権問題に関する解説

ICT関連技術については、PLATEAU、SfM、VR/MR/AR、AI技術、スマートシティ、MaaSの他、2022年から登録が義務化されるドローンの運用についての説明を行った。

その他、話題提供として、専門委員会加盟会社を対象に調査したテレワーク、DX、BIM/CIM等の推進状況についての報告も行ったが、受講者アンケートから注目度の高さがうかがえた。

また、本ウェビナーの募集人数は300名を想定していたが、募集開始後数日で定員に達し、視聴ができない希望者が多数いたため、協会CPDサイトで録画配信を行っている。

##### c) GIS講習会のトライアル開催

来年度もコロナ禍が収束しないことも想定し、本専門委員会参画会社を対象に、GISベンダーの協力の下、Web形式でのGIS講習会を施行した。結果として、従前とほぼ同レベルのWebによるハンズオンも可能であることが確認できたが、講義時間が長いことや、講師側で進捗が確認しにくい点もあり、集合式に比べ、若干、受講者側の負担が高いことも確認できた。

### 2. 次年度の活動について

当専門委員会は、今年度に引続き、次年度も講習会の開催を主体とした活動を行う。

- (1) 「GIS講習会」については、コロナ禍のため今年度も開催を見送らざるを得なかったが、来年度はGISベンダーの協力の元、集合式の再開、もしくはWeb形式でのハンズオン講習会の開催を目指す。
- (2) 「ICTセミナー」については、業界内で注目度が高いBIM/CIMの内容を中心に、DXやテレワーク、ICT技術等にも着目し、内容を充実にさせ講習会の開催を計画する。

（ICT普及専門委員会委員長 佐々木 秀典）